

## 読図研修・実技 彦谷湯殿山 2021. 11. 28

参加者 Y、O、F、O

講師： H、I、M、K(SL) CL(N)



小春日和の足利の里山をコンパス片手に地形図とにらめっこしながら特定の地点を特定し、ルートを探ってゆく体験は普段の山行ではなかなかできないことで、たとえ迷ったとしても、皆さんと一緒にいるという安心感があり、実際に道迷いをしたときの不安感はありませんでした。しかし、先輩が導いてくれるだろうという甘えや無責任感もどこかにあったかと思います。基本の読図を経験してみたことで改めて地図読みの大事さと実際の行動をどう決めるかを認識しました。H講師が言われたように、自分で実際にやってみることで技術を身に付けられると思いますので実践したいと思います。

最後に講師のHさん初めCL、SLの方々お世話になり、ありがとうございました。(O)

10月の入会以来、岩、ロープ、読図と参加させてもらい、どの講座もレベルの高さに驚きの連続です。今回の読図では私にとって地図にコンパスなんて、初めての経験でしたが「花、景色、山々が美しい」ばかりでなく「低い山でも侮れない(危険性)」等、地図だけでは読めない判断力も教わりました。

何より素晴らしい事は、マンツーマンでの指導と言う、何とも贅沢で貴重な時間を頂いた事です。ありがとうございました。(Y)

入会直後に受講しただけで、ただ山に登っていただけの私が今回の読図に参加させて頂きました。スタート間もなく、地図上で明らかに行き止まりとなっている林道を実際に歩いて見て、回りの状況を確認したり、はっきり地図に載っている登山道が実は全く無くて、右横にそれた所から登ったら、やがて目的地に辿りついたりと地図読みの大切さを学びました。

そして下山時2つに別れた尾根の所では、小さい左の尾根に進む事と説明を受けていたので何とか間違わずに、藪こぎを降りて来られました。

私の山人生でこんなに地図とコンパスを使ったのは初めてでした。  
講師をはじめスタッフの皆様、大変お世話になりました。(O)



座学でしっかり学んで、いざ実技山行「彦根湯殿山へ！」

初冬の里山は冷えるも晴朗。ここは何処？を【正地】したら、地図上にコンパスを当てて、磁針と磁北線を調整して、進むべき道の方角をみつけたよ！

あの山なあに？の練習課題をクリアしたら、講師陣から与えられた地図上の一部派生尾根の登山道のないところに、手書きで5か所のポイントが打ってあるのよ。「その尾根を探して、そこを下る！」が最終テスト。

選んだ尾根は筋違い。ザレてる上に葉っぱが積もりおまけに急傾斜と来たもんだ。滑る事甚だし。(あたしゃねえアプローチシューズなんだよ！)途中さすがに異変に気付き、トラバースしては正しい尾根筋にたどり着いたのであります。斯くして残念な結果に終わり、【合】のハンコは来年に持ち越しとなりました。(F)